

渡島・檜山地方道路防災連絡協議会
平成 24 年度 幹事会 会議録（要旨）

1. 概要

- 1) 開催日時 : 平成 24 年 8 月 29 日 (水) 13:30 ~ 15:00
- 2) 場 所 : 函館開発建設部 函館道路事務所 2階会議室
- 3) 出席者 : 22 名 (詳細は別紙幹事会出席者名簿参照)
- 4) 議 事 :
 1. 開 会
 2. 挨拶
 3. 出席者紹介
 4. 議 事
 - (1) 協議会について
 - (2) 今年度協議会活動案について
 - (3) 今年度の会議等の開催予定
 - (6) その他
 5. 閉 会



写真：幹事会開催の様子

2. 配布資料

- ・ 議事次第、出席者名簿、座席表
- ・ 資料－1 幹事会資料
- ・ 渡島・檜山地方道路防災連絡協議会 規約

3. 議事内容

3-1 議事1 協議会について

- ・ 事務局より協議会の目的、幹事会の役割、ワーキンググループによるこれまでの検討内容について説明。

【質問・意見等】

(檜山振興局) 表3 昨年度までの津波WGの開催概要及び検討項目の中で、第3回開催時の出席者数のA、B、Cの分けは何か。

(事務局) より活発な意見交換を行うことを考えて、少人数にグループ分けして実施した。

3-2 議事2 今年度協議会活動案について

- ・ 事務局より今年度の検討項目案ごとに目的・背景・検討経緯と、具体的な検討の進め方について説明。
- ・ 今年度の検討項目としては、①冬期異常気象における関係機関との協力体制、②津波対策に関する検討、③防災講演会の開催、④その他、であり、各項目における検討内容、アンケート調査やワーキンググループ開催のスケジュール案を提示。

① 冬期異常気象における関係機関との協力体制の検討

【質問・意見等】

(檜山振興局) 豪雪時や異常気象時の協力体制や連絡体制に関する資料の配布は良いが、実際の現場における資料の活用方法を教えてほしい。

(事務局) 資料は豪雪時や冬期異常気象時の対応マニュアルとして配布する予定で、各自治体で今年度冬期より実際に運用してもらい、課題や問題点については協議会活動の中で適宜意見収集を行い、継続的に改善することを考えている。

(檜山振興局) マニュアルは既に作成されているのか？また、作成済みであるならば協議会関係機関が了解しているものなのか？

(事務局) 平成17年に旧函館市管内を管轄する関係機関とで作成したマニュアルがあるが、その他の地域を対象としたマニュアルはまだ作成されていない。そのため、ワーキンググループで渡島檜山の全管内を対象としたマニュアル案を事務局より提示するので、その際に関係機関との協議や確認を行う。

(函館海洋気象台) 昨年度の豪雪災害での課題や問題点に対する、対応や改善点などはワーキンググループで提案されるのか？

(事務局) 今回の協議会活動に冬期異常気象災害の対応を含めたのは、昨年度の豪雪災害の発生が発端であり、その時の対応事例や経験については考慮したいと考えている。

(檜山振興局) 自衛隊派遣の要請手順や連絡体制の整理については、自衛隊側の体制や考え方がありと思うので調整等が必要と考える。要請する側だけで検討することは難しいと思われるが、具体的にどのように整理することを考えているのか？

(事務局) 自衛隊側との協議も含めて、どのような整理を行うかワーキンググループにて検討を行う。

② 津波対策に関する検討

【質問・意見等】

(江差町) 10月に津波発生を想定した防災訓練を予定しており、管内の国道が浸水する津波高5mを想定している。そのため、国道管理者にも訓練の協力、参加をお願いしたいが、具体的にどのような協議が必要であるか教えていただきたい。

(事務局) 実際の津波発生時においては、道路事務所単位で現地対応を行うことから、江差道路事務所へ直接連絡して頂きたい。事務局からも道路事務所へその旨を後日伝える。

(檜山振興局) 道路管理者や警察・消防が協力して、通行規制の実施訓練を同時に開催するといった訓練方法もあるので検討なされてはどうか？

(道警函館本部) 訓練方法や通行規制の時間帯を明確にして周知を行い、地域住民から理解を得ることができれば国道の通行規制を伴う訓練の実施は可能と思われる。

(事務局) 訓練への協力を検討するため、訓練当日の具体的な方法等について提示をお願いします。

(北斗市) 津波防災についての住民説明会で「国道通行止めにより車両が生活道路へ一斉に進入してくる際の、避難する住民への配慮や安全性の確保を考えてほしい。」との意見が出された。生活道路への迂回車両に対し、避難住民への影響防止、安全確保のための注意喚起やマナー向上などの手段などがないか？

(事務局) リアルタイムに道路利用者への情報提供手段としては、道路交通情報等を活用した呼び掛けが考えられるが範囲が限られている。

(北斗市) ドライバーへの啓発、啓蒙活動に加え、何らかの強制力を伴うような情報伝達方法等ないか？

(事務局) 強制力を伴う方法については現時点では難しいと考える。ただし、地域住民にはこのような懸念があることを道路管理者として理解し、機会があるごとに取り上げたいと考える。

③ 防災講演会の開催、その他

【質問・意見等】

(檜山振興局) 協議会ホームページのデータ削除はいつ頃を予定しているか？

(事務局) 9月末を予定しているが、詳細が決まったら関係機関へ事前周知を行う。

3-3 議事3 今年度の会議等の開催予定

- ・ 今後の会議の具体的な日程について

10月中旬～下旬：豪雪ワーキンググループ

11月中旬～下旬：津波ワーキンググループ

1月下旬：協議会総会、防災講演会

【質問・意見等】

特に質問・意見なし

3-4 議事4 その他

【質問・意見等】

(檜山振興局) 国道での海拔表示を予定していると聞いているが、渡島・檜山管内での設置計画を教えて欲しい。

(事務局) 約 800 箇所に海拔シールを設置する予定である。市町村毎での設置箇所数については後日連絡する。

(檜山振興局) 駒ヶ岳噴火時における国道の迂回路等を把握する必要がある。関係機関との総合的な防災訓練等を実施し、これらの情報を共有できないか？

(事務局) 10 月に北海道警察主催による訓練が予定されており、そこで迂回路等の検証を行う予定であるので、後日情報提供することは可能である。

(道警函館本部) 駒ヶ岳噴火を想定した防災訓練は毎年色々な形式で行っている。今年の訓練では実際に通行規制を行う予定はないが、現地に人員を配置する訓練を予定している。

(檜山振興局) 災害時に道路利用者が最も早く通行規制に関する情報を入手できる手段は何か？

(事務局) インターネットで公開されている「北海道地区道路情報」からの情報入手が最も早いと思われる。また、国道の通行規制については関係機関へ FAX による情報提供も行っている。

(檜山振興局) 道路利用者が道路の異常や災害の予兆を発見した場合、どこにどのように連絡すれば良いか？夜間では道路事務所に連絡しても転送され、対応に遅延が生じるのではないか？

(事務局) そのような場合は「#9910」に連絡をお願いします。

(北斗市) 豪雪災害の検討においては、降雪量など災害となる基準や目安が提示されるのか？

(事務局) 個々の事象で判断することとなる。

以上

渡島・檜山地方道路防災連絡協議会
平成24年度 幹事会 出席者

	機関名	部署	役職	氏名	備考
1	渡島総合振興局	地域政策部 地域政策課	主幹	町村 則幸	同行者2名
2	檜山振興局	地域政策部 地域政策課	主幹	村上 宏	同行者1名
3	函館建設管理部	事業室 地域調整課	企画調整係長	中野渡 啓二	(代理)
		用地管理室 管理課	課長	出口 憲史	
		事業室 道路課	課長	沼上 仁	
		事業室 事業課	施設保全室長	森川 晃宏	
4	北海道警察函館方面本部	交通課	規制主任	中野 耕平	(代理)
		警備課	災害係主任	小濱 朋幸	(代理)
5	函館市	総務部	参事	武田 忠夫	
6	北斗市	総務課	課長	工藤 実	
7	江差町	建設水道課	課長	大坂 敏文	
8	函館海洋気象台	業務課	課長		欠席
			地震津波防災官	家常 昌洋	
			火山防災官	遠藤 仁	
9	函館開発建設部	工務課	課長	高田 敦	
			道路整備保全対策官	作田 均	
			上席工務専門官	長屋 延和	
			工務専門官	山田 豊	
		防災対策官	防災対策官	田畑 修	
		防災対策専門官	高木 勝博		

出席者数 9機関22名